

有坂広一です。

廉価で年に四回発行しているのは、私のような未熟者には修練するのにもってこいの媒体です。そこでひとくさり。今時の若手作家たちはどうに近代文学と絶縁して創作活動をしており、それに伴って教養主義や人道主義やヒューマニズムや固定的な真善美なども無縁です。文芸は市民社会の治外法権下にあるのですから、もっと羽を広げるべし。反道徳あり変態あり卑劣あり愚行あり醜悪あり、品格がそんなにいいのか、善か悪かと言えは圧倒的に表向きの善が幅を利かせ、私の作品までがおとなし目になっているので、それを警戒しながらエクササイズしています。現代の思考者よ、切にご参加を期待しています。